

(一) 歲月いつか重ね来て
 いかで忘れん御教訓の
 清きをかかぐ御灯明に
 わがはらからよいとし児よ
 (三) 広きは仏の慈悲にして
 掌をば合わせて今日の日の

遠くなりたる御親達
 きびしき声と笑顔をば
 霊前は映える花の影
 面影かなし在りし日の
 深きはささぐわがまこと
 一日をともに安らわん

報恩供養御和讃

想い深く

拍速四二位

(一) 頭
 としつきいーつかか
 (二)
 きよきをかか
 (三)
 ひろきほとけの
 (衆)
 じみひにかして

とおくなりたりる
 みおやたち
 とおくなりたりる
 みおやたち
 とおくなりたりる
 みおやたち

いーかですれん
 いとおしえの
 いとおしえの
 いとおしえの

おもひをともなし
 あえがをば
 おもひをば
 あえがをば
 おもひをば

梅花流詠讃歌とは御仏の教えを曲調をつけてお唱えする賛歌です。
 梅花講では詠讃歌から正しい信仰を学び、一緒に仲間と唱え合うことでお互いの生活が明るくなります。
 仲間全員が笑顔あふれる素敵な学び舎と一緒に詠讃歌を学びませんか。
 大本山總持寺では毎月3回のお稽古日を設けています。見学も是非ご参加ください。

都合により 11月のお稽古日 17日、 日、 日

お問い合わせ 大本山總持寺布教教化部 045-581-6086